

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成20年6月19日(2008.6.19)

【公開番号】特開2006-327152(P2006-327152A)

【公開日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-048

【出願番号】特願2005-157561(P2005-157561)

【国際特許分類】

B 41 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/04 102Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月23日(2008.4.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

供給されたインクを記録ヘッドが吐出することで、記録媒体への記録を行うインクジェット記録装置であって、

前記記録ヘッドの吐出口を覆うキャップと、

前記キャップに接続され、前記記録ヘッドの回復動作に用いられたインクを吸引するポンプと、

前記ポンプにより吸引された前記回復動作に用いられたインクを冷却する冷却部と、を備え、

前記冷却部において冷却されたインクは、再び前記記録ヘッドに供給されるよう構成されていることを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項2】

前記冷却部において冷却された空気は、前記冷却部において冷却された前記回復動作に用いられたインクが戻されるタンク内を通過した後に、大気中に放出されることを特徴とする請求項1に記載のインクジェット記録装置。

【請求項3】

前記タンク内には、貯留されたインクの液面位置に応じて上下する板状部材が設けられていることを特徴とする請求項1に記載のインクジェット記録装置。

【請求項4】

吐出口よりインクを吐出する記録ヘッドと、該記録ヘッドに供給するインクを貯留するタンクと、該タンクより記録ヘッドにインクを供給する第1のポンプとを備え、該記録ヘッドが、供給されたインクを吐出することで、記録媒体に記録するインクジェット記録装置における制御方法であって、

キャップを用いて、前記記録ヘッドの吐出口を覆う工程と、

前記キャップに接続された第2のポンプを用いて、前記記録ヘッドの回復動作に用いられたインクを吸引する工程と、

前記第2のポンプにより吸引された前記回復動作に用いられたインクを冷却する工程と、

前記冷却されたインクを、再び前記記録ヘッドに供給するために前記タンク内に戻す工程と

を備えることを特徴とするインクジェット記録装置における制御方法。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の制御方法をコンピュータによって実現させるための制御プログラムを格納した記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記の目的を達成するために本発明に係るインクジェット記録装置は以下のような構成を備える。即ち、

供給されたインクを記録ヘッドが吐出することで、記録媒体への記録を行うインクジェット記録装置であって、

前記記録ヘッドの吐出口を覆うキャップと、

前記キャップに接続され、前記記録ヘッドの回復動作に用いられたインクを吸引するポンプと、

前記ポンプにより吸引された前記回復動作に用いられたインクを冷却する冷却部と、を備え、

前記冷却部において冷却されたインクは、再び前記記録ヘッドに供給されるよう構成されていることを特徴とする。